



問 JA支所施設の有効利用の取組は

答 JAとの協議に入り、地域活性化の一助としたい

このような状況の中で、町としては、第5次総合計画で仮称ではあるが「校区まちづくり委員会」の創設など小学校区単位でのコミュニティの育成に向けた施策を検討することとしているし、私のマニフェストでも小学校校区の、地域コミュニティ活動の支援体制

町長 大溝支所・大莞支所はそれぞれの小学校校区の中心にあり、JA組合員のみならず、地域における営農普及活動や防犯活動等の各種活動の場として幅広く利用されていると認識している。

問 JA福岡大城の遊休施設の利用について、本年1月22日にJA福岡大城の臨時総代会が開催され、「支所機能再構築」が議決され、大莞、大溝支所がその対象となる。ATMの設置や地域における憩いの交流の場としての活用方法を検討することだが、町としてJAと共同で施設の有効利用に取組む考えは。

私も、この考え方を支持・踏襲し、二期目のマニフェストにも掲げ、取り組んできたが、小

その内容は、行政や各種団体との協働、あるいは住民一人ひとりの技と力を活かすしくみを進めていく受け皿としては、現在の行政区単位では規模的に小さく、担うのは相当の困難が予想されることであつた。一方で、当事者意識を保つためには意思決定の単位はある程度小さくなければならぬことから、小学校校区を単位として、町は人的、財政的支援を行い、住民が自己の責任において決定し実現できる住民自治組織を整備するとしている。

を確立するとしている。小学校区を単位とした地域分権の推進については、合併協議が破綻した平成17年5月に開催された「今後の行財政運営についての」住民と行政の協働によるまちづくり「住民説明会」で、住民自治のめざすべき姿として、小学校区を単位とした地域分権の推進が示されている。

問 町民から預かっている農具、民具や絵画等の展示はどうするの。例えば、倉庫を利用したギャラリーを考えてみたらどうか。

町民から預かっている古民具や農具については、

学校児童の登下校時の見守り隊や防犯活動などの一部分を除き、思うように進んでいないのが現状である。原因を考えてみると、進まなかった理由の一つとして、拠点の施設が無いことも大きな要因ではないかと考えるが、多額の費用を用いて新たな施設を建設する時期ではないのも事実である。そうした中、今回提案いただいているJA支所の「支所機能再構築」に伴う大溝支所・大莞支所の有効活用については、今後のコミュニティ活動の活性化に向けて、大きな一歩を踏み出すことができると思うので、JA福岡大城と協議に入らせていただきたい。

問 農業振興において、大木町に居住して農業に取組めるように空き家を利用して受入れできる仕組みを作り上げることはできないか。



水車

こつぽーつと図書館内のギャラリーに期間限定ではあるが、展示等している。限られたスペースなので数に限りがある。規模等今後の協議になると思うが、倉庫等を利用した保管及び展示ができるよう工夫できないか希望は持っている。

ズバリ町政を問う

一般質問

3月定例会では、3月23日、4名の議員が質問しました。



JA福岡大城大溝支所



花宗川の排水対策には旧酒見堰の早急な撤去が不可欠



くるるん周辺野菜畑



くるるんの太陽光発電設備

(質問順に掲載)

質問議員	主な質問事項	掲載ページ
眞崎 萬次	<ul style="list-style-type: none"> ■JA福岡大城の支所機能再構築に伴う支所の共同利用について ■農業振興における新規就農者対策と空き家の活用について ■高齢化に伴う介護ボランティアの仕組み作りについて 	17ページ
西田 勉	<ul style="list-style-type: none"> ■道路の拡張及び歩道設置について ■花宗川の排水について ■農業の振興について 	20ページ
中島 和正	<ul style="list-style-type: none"> ■第5次総合計画大木新時代プランについて(農業振興策) 	22ページ
井上 護	<ul style="list-style-type: none"> ■太陽光発電の大木町の庁舎設置について ■国民健康保険について 	23ページ